

けんこう広場

保健センター通信

TEL 37-2331

虫歯なしの金メダル!

3月に実施した3歳児健康診査での虫歯なしさんは、田沢来ちゃん(湯原)、須井桃香ちゃん(湯原)でした。おめでとうございます!



日本脳炎予防接種の再開について

平成17年5月に厚生労働省からの通知により、日本脳炎の予防接種について積極的勧奨を控えておりましたが、新ワクチンの開発や安全性の確認ができたことから、平成22年4月において3歳になるお子さん(平成19年4月2日から平成20年4月1日生)には積極的に接種していただくよう勧奨通知(予診票・委託書)を通知しています。日本脳炎の予防接種は、生後90カ月までのお子さんが接種対象ですが、ワクチンの供給量の都合により対象者すべての方へ積極的に接種勧奨できる段階ではありません。生後90カ月までのお子さんで特に希望される場合は、事前に保健センターで予診票と委託書の発行を受けてから実施医療機関で接種してください。

担当 岩間

仙台ノルディックウォーキング

フェスティバルに参加しました!

6月6日(日)秋保において開催されましたノルディックウォーキングのイベントに参加し、7kmの距離を全員完歩することができました。トライアルタイムに挑戦した3人は、1時間30分の通過基準タイムよりも早くゴールし、達成証を受け取りました。

ノルディックウォーキングは2本のポールを使っておきます。性別や年齢にかかわらず、無理なく始められるスポーツです。興味のある方は、毎月開催しております「げんき塾」へご参加ください。



<お知らせ>

●7月の健康相談日
実施日 / 7月 5日(月)
 7月16日(金)
申込み / 事前に予約が必要です。保健センターまでご連絡ください。

●ポケモンクッキング
 (親子料理教室)
実施日 / 7月31日(土)
 10時~1時30分

場所 / 保健センター
対象 / 幼児、小学生とその家族

持ち物 / エプロン、三角巾、米1合
参加費 / 一人100円
申込み / 7月23日(金)まで保健センターへご連絡ください。

●講演「神経難病によくあらわれる症状と対応について」及び交流会

日時 / 7月23日(金)
 午後1時~4時
場所 / 白石市いきいきプラザ
講師 / 国立病院機構宮城病院

今井尚志 医師
申込み / 宮城県難病相談支援センター
 ☎ 022-211-3351

その他 : 入場無料
 申込みは、7月20(火)まで

●げんき塾(運動教室)
実施日 / 7月16日(金)
集合 / 保健センター
内容 / 町内を歩きますので、各自飲み物や帽子の準備をしてお越し下さい。申込みは不要です。

健康一ロメモ

熱性けいれん

救急車で来院される小児疾患の大多数が、熱性けいれんです。

あわてる必要はないのですが、けいれんを初めて目撃した方に、「あわてるな」と言うほうが無理です。

顔がおおざめ、意識が無くなり、呼吸が止まったように見えますので、「もうだめだ」と直感してしまいます。体や手足は、つっぱったり、ビクンビクンしたりすることが多いですが、逆に力が抜けたようになる場合もあります。

日本人は熱性けいれんを起こしやすい体質で、7%の人が経験します。ただし、生後6ヶ月から6歳までの間に限定で起こります。

公立刈田総合病院 小児科

鈴木 喜久男 先生



けいれんの多くは2~3分で自然におさまりますが、熱性けいれん以外にも熱が出てけいれんを起こす病気がありますので、必ず診察を受けてください。10分以上けいれんが長引く場合は救急車を依頼して下さい。

最後に誤解が多い注意点を2つ。
 ① 解熱剤で熱性けいれんを防ぐことはできません。
 ② 舌をかまないように口の中に物を入れるのはケガのもと。絶対に入れないでください

こちら診療所

所長 長島 高宏

予約以外の患者様で、急な診察希望の方や37.5℃以上の発熱を起こしている方は、必ず事前に医療機関に電話連絡をして受診するようにお

願いたします。皆様のご協力をお願いします。
 (整形外科外来のお知らせ)
 今月は、9日(金)と23日(金)です。

思いやりのある良質で信頼される医療を目指して

着任のあいさつ

海東 恵美子(消化器科)

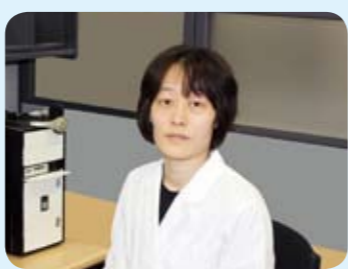
4月1日付で、消化器科に赴任しました海東です。4年前、仙台厚生病院の消化器科を退職する際、公立刈田総合病院の話を聞いて心に留めていましたが、その後、石巻市立病院、国立病院仙台医療センターで勤務し、今回、縁あってお世話になることになりました。

現在、消化器科は複数の医師で対応できる体制にあり、また、当院は血液検査の結果が早く分かるので、CTなどの画像検査の予定を極めて早く組める状況にあります。

医師会の諸先生方には、気軽にいろいろとご相談頂ければと思っております。

当院の患者さんは高齢の方が多く、中には、症状があっても必要性があっても、大腸内視鏡検査

に対して高齢だからいいでしょうと、二の足を踏む方がいらっしゃいます。大腸癌は、比較的進行が遅いにも関わらず、大きくなれば腸閉塞を引き起こし苦痛をきたす病気ですので、適応があれば、高齢であっても検査をすることが患者さんの利益になると思っています。精度は落ちますが、CTその他の検査で代替することもできますので、積極的に皆さまの健康維持に取り組みさせて頂きたいと思っています。どうぞよろしくお願い致します。



看護師募集中! 詳しくは、総務課人事係まで